

# 共同研究成果報告書

作成日 平成22年5月20日

研究課題名	経営と文化に関するアーカイブズ研究					
所属研究部局 ・職名	アーカイブズ研究系 ・教授	ふりがな	たかはし みのる			
		研究代表者氏名	高橋 実			
研究形態	1. 基幹研究 2. 共同研究 (3.) プロジェクト研究 4. その他 ( )					
研究の位置づけ	(1.) 中期目標・中期計画に記載 2. その他 ( )					
研究期間	平成16年度～平成21年度 6年計画の第6年次					
研究経費	年度	研究経費	経費内訳 (単位:円)			
			物品費	旅費	謝金等	その他
	平成16年度	1,126,797	208,039	366,570	525,350	26,838
	平成17年度	1,732,000	268,658	755,740	262,600	415,002
	平成18年度	792,000	49,714	98,750	133,000	510,536
	平成19年度	1,045,176	233,751	245,650	345,800	219,975
	平成20年度	1,126,346	99,046	958,380	67,450	1,470
	平成21年度	1,177,851	4,200	546,500	176,701	450,450
総計	7,000,170	863,408	2,971,590	1,540,901	1,624,271	

研究組織				
氏名	所属機関・部局・職名	現在の専門	役割分担	エフォート (%)
(研究代表者)				
高橋 実	アーカイブズ研究系・教授	記録史料学	プロジェクト総括	25
(研究分担者)				
青木 睦	文学形成研究系・准教授	史料保存学	史料保存法分析	20
山田 哲好	アーカイブズ研究系・准教授	記録史料学	近世地域史料分析	15
岡部 真二	茨城県立歴史館・主席研究員	近世地域史	近世地域史料分析	5
籠橋 俊光	東北歴史博物館・企画部企画班・研究員	日本近世史	近世地域史料分析	5
門前 博之	明治大学・文学部・教授	近世地域史	近世地域史料分析	5
神谷 智	愛知大学・文学部・教授	日本近世経済史	近世史料分析	5
多和田 雅保	横浜国立大学・教育人間科学部・准教授	近世近代史	近世近代経営史料分析	5
浪川 健治	筑波大学・大学院人文社会科学研究科・教授	近世近代産業史	近世近代産業史料分析	5
守屋 正彦	筑波大学・大学院人間総合科学研究科・教授	近世近代美術史	近世近代美術分析	5
山崎 圭	中央大学・文学部・准教授	日本近世史	近世地主経済資料分析	5
山本 英二	信州大学・人文学部・准教授	近世地域史	近世・文化資料分析	5
横山 憲長	長野県短期大学・多文化コミュニケーション学科・教授	近代地域史	近代地域史料分析	5
(研究補助者)				
荒川 将	アーカイブズ研究系・リサーチアシスタント			5
合計 14名				

### 【概要（背景と目的）】

- ・「背景」と「目的」は、概要の中に入れて記入している場合は、特立して記す必要はありません。
- ・半頁以上、1頁以内で記入して下さい。
- ・【全体の研究成果】等他の記入欄と同内容のことを書かざるを得ない場合でも、他の記入欄と数行にわたって同一内容（成果出版物の目次を記す等）になるような記入はしないで下さい。

本研究プロジェクトは、国文学研究資料館の原典資料に関する実証的な研究を基礎とした日本文化の多様性を総合的に捉え直す研究計画に関連して、館蔵資料のうち、近世・近代の地主・名望家及び実業の経営と文化に関する資料を中核とし、現地に保存されている関連資料をも対象に、豊でかつ新しい地域史像・実業史像を立体的に明示するとともに、アーカイブズ学研究の進化を目的としたものである。この実現には、アーカイブズ学、歴史学、美術史学、文芸史学などの諸分野の研究者を結集して、総合的に調査・研究し、地主・名望家や実業家の活動や地域社会の全体像を解明し、さらには史料の調査・保存・活用方法や体系的な認識方法を構築することを目指したもので、ここに特徴があるといえる。

具体的には、以下の①～③の三つの柱をたてて進めた。

- ① 信濃国高井郡東江部村・山田家文書を中心とする調査・研究
- ② 常陸国行方郡玉造村・大場家文書を中心とする調査・研究
- ③ 日本実業史博物館準備室旧蔵資料の調査・研究

① の山田家文書は、館蔵分が1万5千点、現地に1万4千点、合計3万点に及ぶ文書群で、同家は近世中期以降に近隣諸村の土地集積をして県内最大の地主・豪農の地位を占めるに至る。同家の経営実態や第7代庄左衛門（松齋）の地域文人としての活動の実態解明には、未整理の3万点の文書群をはじめ、書画や蔵書を含めた整理と目録作成が必須条件である。

② の大場家は、館蔵文書の行方郡牛堀村須田家と関連し、両家共に水戸藩の大山守を勤めた郷士である。大場家には6千点弱の文書群の他に水戸藩との密接な関係を窺うことができる書画も含まれる。

③ は実業家、財界人また民俗学者であった渋沢敬三が、実業史博物館創設を目指して収集した、準備室アーカイブズも含め、11種3万8千点のコレクションである。この博物館構想の意図や収集実態の解明には、準備室アーカイブズの調査・研究が不可欠で、本研究も実質的な契機となった。

## [全体の研究成果]

- ・この欄に、全ての出版物を並べて記入しないようにして下さい。出版物の一部分を記入することは構いませんが、成果物の一覧は、[成果出版物・論文等]の欄に記入して下さい。
- ・半頁以上、1頁以内で記入して下さい。

本研究の三つの柱に沿って研究経緯とその成果を以下に報告する。

### ① 信濃国高井郡東江部村・山田家文書を中心とする調査・研究

当館収蔵と現地収蔵の3万点に及ぶ文書群の整理と目録作成は、平成20年に完了することができた。この背景には、多様な研究領域研究者（地域史・経営史・社会史・美術史・書籍史・文化史など）の知見を動員した総合的調査であったことだけでなく、現地の研究者・協力者との協働体制（とりわけ中野市教育委員会・長野県立歴史館）が確保できたことは大きい。現地では、山田家旧宅を含め中野市教育委員会管理下で、保存管理と利用公開体制の整備を進めている。

研究成果中間報告として『近世・近代の地主経営と地域文化社会論－地域アーカイブズの総合的調査研究を通して－』（213p,2007）を刊行した。その内容は、1. アーカイブズ調査・保存論、2. 地主経営論、3. 地域文化論、4. 地域社会とアーカイブズ、の4部立てで、14編の論考を収録した。翌年には、論文集『近世・近代の地主経営と社会文化環境 地域名望家アーカイブズの研究』（名著出版、433p,2008）を刊行した。その内容は、第一部地主経営論、第二部地域文人論、第三部地域社会論、の3部立てで、13編の論考を収録した。最終年度に刊行した研究成果報告書『近世中後期地域の中間支配・由緒・蔵書・文芸研究』第2部に山田家調査・研究成果補遺として、美術資料や蔵書の収集やその特徴についての論考を収録した。

### ② 常陸国行方郡玉造村・大場家文書を中心とする調査・研究

研究成果は、『近世中後期地域の中間支配・由緒・蔵書・文芸研究－近世豪農アーカイブズの総合的調査研究を通して－』の第1部として刊行した。その内容は、水戸藩中間支配機構としての大山守・山横目の機能と役割、大場家の由緒書の成立や職歴・事績、さらに大場家の美術資料の特色と位置づけや大場家文書の資質調査や文書管理に関する史料、その他同じく水戸藩大山守であった須田家の蔵書体系を蔵書印から考察した論考8編を収録した。

以上から、本研究が目指したのは、諸分野の研究者が結集してひとつの家・地域のアーカイブズを多角的に検討し、その地域の文化を含めた社会構造全体の解明である。特にこれまでの史料調査では必ずしも注目されてこなかった書籍をはじめとする文化情報資料論研究で、文化活動を含めた全体像と地域社会で果たした役割を、アーカイブズを中核に総合的に解明するという方向性を提示できた。

### ③ 日本実業史博物館準備室旧蔵資料の調査・研究

本コレクションに関係して、平成14～17年度科学研究費補助金特定領域研究(A)公募研究と平成18～20年度連携研究「日本実業史博物館」資料の高度活用での成果によるものでもある。これらを通して、準備室アーカイブズの整備はもとより、その設立経緯や構想の実態解明が図られただけでなく、収蔵資料11種別、総点数3万8千点のデータベースの構築が図られ、今後の有効な利活用に供される予定である。

## 【成果出版物・論文等】

- ・年次順に分けずに、【出版物】、【論文】、【その他（学会発表）（公開データベース）等】の区分で記入して下さい。記入内容は、出版物の場合は、書名（平成□□年□月、□□書房、全□□□頁）、内容（執筆者名、論文名）とし、論文の場合は、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、最初と最後の頁、発表年月、査読の有無を原則とします。
- ・論文名は「 」に、書名・雑誌名は『 』に入れるのを原則とします。
- ・論文名や学会発表、データベース名は、一件ごとに「・」や①②③・・・を使って区別しやすいように記入して下さい。
- ・データベースは公開されているもののみ記載して下さい。

## 【出版物】

- 山崎 圭：『史料目録 第 80 集 信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書(その 2)』(229p,2005)
- 青木 睦：『史料目録 第 81 集 信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書(その 3)』(167p,2006)
- 青木 睦：『史料目録 第 84 集 信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書(その 4・完)』  
(220p,2007)
- 青木 睦：『復活！日本実業史博物館調査報告 2006 年』(DVD 版、2007)
- 青木 睦：『復活！日本実業史博物館調査報告 2007 年』(DVD 版、2008)
- 青木 睦：機構連携研究：文化資源の高度活用『「日本実業史博物館」資料の高度活用』(2006～  
2008、研究代表者：青木睦)成果中間報告書(582p,2008)
- 中野市教育委員会・国文学研究資料館アーカイブズ研究系共同編集：『中野市文化財調査報告書  
第 3 集 東江部村山田庄左衛門家文書目録 I』(中野市教育委員会、221p,2006)
- 中野市教育委員会・国文学研究資料館アーカイブズ研究系共同編集：『中野市文化財調査報  
告書 第 4 集 東江部村山田庄左衛門家文書目録 II』(中野市教育委員会、291p,2007)
- 中野市教育委員会・国文学研究資料館アーカイブズ研究系共同編集：『中野市文化財調査報告書  
第 5 集 東江部村山田庄左衛門家文書目録 III』(中野市教育委員会、303p,2008)
- 国文学研究資料館アーカイブズ研究系編：研究成果中間報告『近世・近代の地主経営と地域文化  
社会論—地域アーカイブズの総合的調査研究を通して—』(213p,2007)

(内 容)

はじめに

研究成果

### 1. アーカイブズ調査・保存論

青木 睦「山田家における概要調査と保存環境・保存措置」

藤實久美子「二間蔵の現状記録および書籍史料群について」

### 2. 地主経営論

神谷 智「山田庄左衛門家の土地集積過程について」

多和田雅保「18 世紀、山田家による穀物販売」

戸森麻衣子「近世後期山田庄左衛門家における金融の展開と幕藩権力」

横山憲長「昭和恐慌期における組合製糸高井製糸場の破綻

—組合長山田庄左衛門との関係で—」

### 3. 地域文化論

杉 仁「地域アーカイブズにみる地主文人「山田松齋」の書物出版活動」

山田正子「山田松齋を取り巻く地域文人—文人松齋の生い立ちと地域人脈—」

山田哲好「北信地域豪農山田家の文芸活動」

藤實久美子「信州中野山田庄左衛門家と畏三堂須原鉄二と旧藩公債証書情報」

#### 4. 地域社会とアーカイブズ

山本英二「山田家の地主経営と温泉

－天保13～弘化3年沓野村忠右衛門家質一件をめぐる－

高橋 実「天保弘化年間・信州中野村直助商い金滞り出入りの展開とその特質

－商い帳簿認識と訴訟工作－

丑木幸男「地域史料としての旧町村役場文書」

寺島正友「千曲川流域における明治初期の治水対策－上今井瀬直し工事を通して－

国文学研究資料館アーカイブズ研究系編：『藩政アーカイブズの研究 近世における文書管理と保存』（岩田書院、339p,2008）

（内 容）

高橋 実「序章 藩政文書管理史研究の現状と収録論文の概要」

原田和彦「第一章 松代藩における文書の管理と伝来」

山崎一郎「第二章 萩藩における文書管理と記録作成」

東 昇「第三章 対馬藩の文書管理の変遷－御内書・老中奉書を中心に－

吉村豊雄「第四章 近世地方行政における藩庁部局の稟議制と農村社会

－熊本藩民政・地方行政担当部局の行政処理と文書管理－

高橋 実「第五章 熊本藩の文書管理の特質」

林 匡「第六章 鹿児島藩記録所と文書管理－文書集積・保管・整理・編纂と支配－

富善一敏「第七章 村方文書管理史研究の現状と課題」

高橋 実「あとがき」

国文学研究資料館アーカイブズ研究系編：『近世・近代の地主経営と社会文化環境 地域名望家アーカイブズの研究』（名著出版、433p,2008）

（内 容）

丑木幸男「刊行にあたって－アーカイブズと地域社会－

#### 第一部 地主経営論

神谷 智「第一章 山田庄左衛門家の土地集積と地域・家」

山崎 圭「第二章 近世後期の山田庄左衛門家をめぐる地主小作関係と村」

多和田雅保「第三章 近世山田家の経営と地域的穀物市場」

戸森麻衣子「第四章 近世後期山田庄左衛門家における金融の展開と幕藩権力」

横山憲長「第五章 1920年代における長野県大地主の組合製糸経営

－組合長山田庄左衛門との関連で－

#### 第二部 地域文人論

杉 仁「第一章 地域文人「山田松齋」の在村漢学と書物出版活動」

山田正子「第二章 信濃文人山田松齋と地域人脈」

山田哲好「第三章 北信地域豪農山田家における書画骨董の収集・交易の実態」

藤實久美子「第四章 畏三堂須原鉄二と「北信濃の文人」山田家」

#### 第三部 地域社会論

山本英二「第一章 近世後期の地主経営と温泉

－天保13～弘化3年沓野村忠右衛門家質一件をめぐる－

高橋 実「第二章 19世紀中葉・在郷商い金紛争とその特質－商い帳簿確認と訴訟工作－」  
丑木幸男「第三章 町村役場文書の形成と地域史料」  
谷本晃久「第四章 「蝦夷地開墾・洋式船舶製造一件往復書簡」をよむ  
－幕末期、代官手代層の自己認識をめぐって－」

高橋 実「あとがき」

国文学研究資料館アーカイブズ研究系編：研究成果報告書『近世中後期地域の中間支配・由緒・  
蔵書・文芸研究－近世豪農アーカイブズの総合的調査研究を通して－』（231p,2010）

（内 容）

はじめに

研究経緯と成果

研究成果報告書の編成と概要について

第1部 常陸国水戸藩領大山守大場家・須田家資料調査・研究成果

籠橋俊光「紛争解決と中間支配機構－水戸藩大山守・山横目－」

栗原 亮「水戸藩領玉造村大場家の由緒書に関する一考察」

山田哲好「「由緒」関係文書から見る大場家の職歴・事蹟」

守屋正彦「大山守大場家の美術資料」

榎本 博「近世須田新宅家の蔵書伝来過程と蔵書印」

高橋 実「日本近世の文書管理に関する研究ノート・関連史料（大場家文書）紹介」

青木 睦・山崎圭子「水戸藩大山守大場家文書の資質調査」

栗原 亮「常陸国行方郡玉造村大場家文書近世項目別略目録」

第2部 信濃国中野領豪農山田家資料調査・研究成果（補遺）

富善一敏「信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家印形出入一件について（史料紹介）」

守屋正彦「信州中野山田家の美術資料」

入口敦志「山田庄左衛門家蔵文学書瞥見」

#### 【論文】

高橋 実：「日本近世社会の特質と文書の作成・管理」

（『中近世アーカイブズの多国間比較』岩田書院、111-126p、2009）

高橋 実：「1840年代在郷における商い金紛争とその特質－商い帳簿認識と訴訟工作－」

（『中近世アーカイブズの多国間比較』岩田書院、273-284p、2009）

## 【展示・シンポジウム】

(展示)

タイトル、会期(期間)、会場、入場者概数

(シンポジウム・講演会)

タイトル、期日、会場、参加人数概数、個別発表者名・講演者名、個別発表・講演タイトル

展示に付随した講演などは、頭に「\*」を付して展示の項に註記しても構いません。

(展示)

- ① タイトル：日米実業史競（渋沢史料館・ミズーリ大学共催、国文学研究資料館後援）  
会期：平成 16 年 9 月 9 日～10 月 2 日  
会場：ミズーリ大学（日本実業史博物館準備室旧蔵資料 85 点出品）
- ② タイトル：春期特別展「幻の博物館の“紙”－「日本実業史博物館」旧蔵コレクション展」  
会期：平成 19 年 5 月 28 日～6 月 15 日  
会場：国文学研究資料館  
入場者概数：1,150 名
- ③ タイトル：明治開化期の錦絵―篤姫が生きた時代―  
会期：平成 20 年 8 月 11 日～9 月 5 日  
会場：国文学研究資料館  
入場者概数：350 名

(シンポジウム・講演会)

- ① タイトル：「幻の博物館の“紙”」  
期日：平成 19 年 6 月 9 日  
会場：国文学研究資料館  
参加人数概数：100 名  
発表者：青木 睦 幻日本実業史博物館紹介―実業史の中の紙―  
増田 勝彦 和紙にみる昭和の技術  
稲葉 政満 海外のジャパニーズ―WASHI―  
近藤 雅樹 アチック・ミュージアムと紙  
金山 正子 科学の目で見る紙資料
- ② タイトル：日本実業史博物館からのメッセージ  
期日：平成 21 年 3 月 13 日  
会場：国文学研究資料館  
参加人数概数：60 名  
発表者：青木 睦 連携研究「日本実業史博物館資料の高度活用」最終報告  
―展示・映像・データベース公開までの道のり―  
金山 正子 日本実業史博物館資料の状態調査最終報告  
田島奈都子 「美人のつくりかた 石版から始まる広告ポスター展」報告  
渋沢史料館 渋沢史料館と「日本実業史博物館資料」  
「復活 日本実業史博物館」渋沢敬三没後 50 年の 2013 年に向けての検討会



## [研究会・資料調査]

年度毎に分けて日付順に研究会と資料調査を別々に記入して下さい。(研究打合せは記入しないこと。)

【平成〇〇年度】

(研究会)

期日、会場、発表者(報告者)とタイトル

(資料調査)

期日、調査先

### 【平成16年度】

(研究会)

- ① 「日本実業史博物館」関係資料研究会(参加者13名)

期日:平成16年6月29日

会場:国文学研究資料館

報告者:青木 睦 「日本実業史博物館」関係資料収集の経緯と調査研究の現状・課題

井上 潤 渋沢史料館における日本実業史博物館関連資料の所蔵状況について

小松 賢司 日本実業史博物館準備室アーカイブズ(日誌類)の内容紹介

- ② 「経営と文化に関するアーカイブズ研究会(1) 商品生産・流通と記録・資料管理」

(参加者23名)

期日:平成17年2月1・2日

会場:国文学研究資料館

報告者:高橋 実 天保弘化年間・中野村直助商い金出入訴訟の展開と特質 商い帳簿認識と訴訟工作

小松 賢司 日本実業史博物館準備室アーカイブズの内容紹介

青木 睦・小松 賢司 日本実業史博物館資料の年次的収集過程

降旗 浩樹 信州和紙の生産流通と御用紙(記録紙)

山田 哲好 日本実業史博物館資料の米国展覧会報告

青木 睦 山田家所蔵渋紙文書の剥離・修復・復元の報告

- ③ 「経営と文化に関するアーカイブズ研究会(2) 地域社会と地主・中間層」(参加者16名)

期日:平成17年2月21・22日

会場:国文学研究資料館

報告者:籠橋 俊光 水戸藩中間支配機構の歴史的展開

谷本 晃久 信濃山田家文書中の箱館奉行所関係書簡について

青木 睦・山崎 圭 大場家文書の紙質調査について

木塚久仁子 常陸国土浦東崎町における安政検地 その顛末と意義

栗原 亮 近世村落の成立と入会地紛争

(資料調査)

#### A. 大場家関係

- ①平成16年6月18・19日 茨城県立歴史館・大場正二家(参加者1名)

- ②平成16年9月4・5日 大場正二家(参加者10名)

- ③平成17年3月7・8日 大場正二家(参加者4名)

#### B. 山田家関係

- ①平成17年2月18・19日 長野県立歴史館(参加者1名)

#### C. 「日本実業史博物館」関係

- ①平成17年3月10・11日 国立民俗学博物館(参加者1名)

### 【平成17年度】

(研究会)

- ① 日台国際史料研究会(参加者18名)

期日:平成17年4月28日

会場:国文学研究資料館

共催:台湾資料研究会、中京大学社会科学研究所

後援:日本財団

テーマ:日本で発見された渋紙台湾文書のアーカイブズ学的研究

報告者:高橋 実 渋紙文書調査の経緯と今後の課題について

青木 睦 渋紙文書の剥離作業や紙質等について

安藤 正人 東アジアにおけるアーカイブズネットワークについて

黄 紹 恒 渋紙台湾文書の内容とその特色について

呉 文 星 清代台湾の公文書に関する現状とその利用について

- ② 「経営と文化に関するアーカイブズ研究会(3) 地域社会と豪農・名望家」(参加者 25 名)  
 期日：平成 18 年 3 月 9・10 日  
 会場：国文学研究資料館  
 報告者：志村 洋 地域社会論の現状と課題  
 神谷 智 山田家の土地集積過程について  
 横山 憲長 中野地方における製糸女工の出稼ぎについて— 一下高井郡日野村「出寄留簿」の分析—  
 山崎 圭 近世後期山田家の地主小作関係について  
 山本 英二 山田家の地主経営と温泉-天保 13 年沓野村忠右衛門一件をめぐる—  
 コメント：舟橋明宏、平野哲也、渡辺尚志
- ③ 「経営と文化に関するアーカイブズ研究会(4) 地域支配と文書管理」(参加者 20 名)  
 期日：平成 18 年 3 月 23・24 日  
 会場：国文学研究資料館  
 報告者：富善 一敏 文書管理史研究の現状と課題  
 福田 千鶴 幕藩政文書管理史研究の現状と課題  
 吉村 豊雄 日本前近代地方行政の到達形態と文書管理システム  
 原田 和彦 松代藩における文書の管理と伝来  
 山崎 一郎 萩藩における文書の保存と管理  
 高橋 実 熊本藩の文書管理システムとその特質  
 林 匡 鹿児島藩における系図・文書調査と記録所-元禄から正徳期を中心に—
- ④ 「日本実業史博物館」関係資料研究会(参加者 25 名)  
 期日：平成 18 年 3 月 22 日  
 会場：国文学研究資料館  
 共催：科研特定領域研究(A)「江戸のモノづくり」  
 テーマ：復活！日本実業史博物館に向けた基盤づくり  
 報告者：青木 睦 「日本実業史博物館構想による産業経済コレクションの総合的調査研究」成果報告
- ⑤ 「日本実業史博物館」関係資料研究会(参加者 30 名)  
 期日：平成 18 年 3 月 23 日  
 会場：国文学研究資料館  
 テーマ：日本実業史博物館資料形成の歩みと特質  
 報告者：青木 睦 財界人・渋沢敬三の「実博」構想とその終焉  
 小松 賢司 「実博」設立に向けた渋沢敬三「一つの提案」の成立と変移  
 小松 賢司 コレクション形成過程の特質と時期区分—「購入原簿」の分析—  
 郷間 大樹 「実博準備室日記」の記録者—筆跡からみた日記の性格—  
 柳衛 悠平 「実博」事業に関わった人々—渋沢敬三の周縁—  
 郷間 大樹 「実博」準備室の組織とその変遷  
 小松 賢司 「実博」準備室の業務とその変遷  
 大谷 明史 「実博」建設計画・運営に関する経営処理について  
 青木 睦 「実博」構想と昭和 15 年経済文化博覧会  
 総合討議テーマ：今後の「実博」研究と「渋沢敬三研究」の課題と展望—連携研究「「日本実業史博物館」資料の高度活用への繋がり」—

(資料調査)

A. 大場家関係

- ①平成 17 年 9 月 21・22 日 茨城県立歴史館(参加者 1 名)  
 ②平成 17 年 11 月 24～26 日 大場正二家(参加者 6 名)  
 ③平成 18 年 1 月 22～24 日 栃木県立文書館(参加者 1 名)  
 ④平成 18 年 3 月 2～4 日 大場正二家(参加者 3 名)

B. 山田家関係

- ①平成 18 年 3 月 10～12 日 長野県立歴史館(参加者 1 名)

【平成 18 年度】

(資料調査)

A. 大場家関係

- ①平成 18 年 10 月 12～15 日 大場正二家(参加者 3 名)  
 ②平成 18 年 12 月 7・8 日 大場正二家(参加者 3 名)

【平成19年度】

(研究会)

① 大場家文書研究会(参加者12名)

期日：平成19年11月10日

会場：国文学研究資料館

報告者：籠橋 俊光 水戸藩大山守制の行政とその社会的意義  
守屋 正彦 大場家の書画から伺える家風  
門前 博之 須田家と須田本家史料について  
岡部 真二 霞ヶ浦沿岸の自治体史刊行状況と近世史研究  
山田 哲好 今後の取組みと研究成果の公表

(資料調査)

A. 大場家関係

① 7月13～15日 茨城県立歴史館(参加者1名)

B. 山田家関係

① 11月1～3日 長野県歴史館(参加者1名)

【平成20年度】

(研究会)

研究論文集『近世・近代の地主経営と地域社会研究』合評会(参加者15名)

期日：平成21年2月2日

会場：国文学研究資料館

(資料調査)

B. 山田家関係

① 平成20年5月27～30日 山田顕五家(参加者8名)

② 平成20年8月18～21日 山田顕五家(参加者9名)

【平成21年度】

(研究会)

① 大場家文書研究会(参加者8名)

期日：平成21年7月21日

会場：国文学研究資料館

報告者：籠橋 俊光 紛争解決と中間支配機構—水戸藩大山守・山横目の内済・村方騒動への対処について—  
栗原 亮 大場家家譜の一考察—家譜から見た大場家—  
山田 哲好 「系図」類から見る大場家の家格  
高橋 実 文書引継に関する研究ノート・史料紹介  
青木 睦 紙質調査報告—事例：茨城県玉造町大場家文書—  
守屋 正彦 信州山田家の絵画 附録：山田熊太郎と明治の洋食器  
榎本 博 須田新宅蔵書群の形成と構造

(資料調査)

A. 大場家関係

① 平成21年10月3・4日 大場正二家(参加者2名)

B. 山田家関係

① 平成21年8月19～21日 山田彰二家(参加者3名)